



株式会社 ナックイメージテクノロジー
CREATIVE 制作営業部
2021年8月24日 T21052

AMIRA[®]

アミーラ SUP 6.1

ソフトウェア・アップグレード・パッケージ SUP 6.1.1:72

リリースノート 日本語版

2021年5月20日

和訳・追記

株式会社 ナックイメージテクノロジー

営業本部 制作営業 1 部

〒107-0061

東京都港区北青山 2-11-3

03-3976-7901

目次

A. 概要	3
SUP 6.1.1 の新機能と変更点の一覧.....	3
アップデートに関する注意点.....	3
ダウングレードに関する注意点.....	3
互換性のあるソフトウェア	4
オンラインレジストレーション.....	4
B. 法令	5
使用対象者と使用目的	5
重要な注意事項	5
C. SUP 6.1.1 の新機能	6
D. 既知の問題	8
SUP 6.1.1 における新しい挙動	8
SUP 6.1.1 において解決された既知の問題.....	8
SUP 6.1.1 における既知の問題	8
E. アップデート手順	16
ソフトウェア・アップデート・パッケージ (SUP)のダウンロード方法	16
カメラのアップデート方法	16

A. 概要

本文書では、SUP 6.1.1 の AMIRA カメラにおける変更点について説明します。SUP 6.1.1 の主な機能は SUP 6.1 と同じですが、いくつかのバグフィックスが加えられています。

カメラをご利用になる前に本文書および“既知の問題”項、ユーザマニュアルをご一読ください。

詳しい情報は、以下の URL からご覧いただけます。

<http://www.arri.com/amira>

<https://www.arri.com/en/camera-systems/cameras/arri-multicam-system>

よくある質問とその回答は、以下の URL からご覧いただけます。

<https://www.arri.com/en/learn-help/learn-help-camera-system/frequently-asked-questions/amira-faq>

SUP 6.1.1 の新機能と変更点の一覧

- ・ ノイズリダクションのアルゴリズム向上
- ・ HD 解像度でもノイズリダクションをサポート
- ・ イメージシャープネス範囲拡張
- ・ ディフェクトピクセルの静的補正
- ・ SDI 出力がプロジェクトフレームレートに追従
- ・ フレームラインのシェーディング
- ・ 起動時間の短縮

- ・ ビューファインダーにグリーンタリーを表示
- ・ インターコムでのトークバック
- ・ DTS FCA 搭載カメラの自動起動
- ・ cforce RF モータを用いた RCP からのアイリス操作

- ・ CAP 機能向上
- ・ ECS 機能向上
- ・ 全体的な機能向上とバグフィックス

アップデートに関する注意点

カメラを最新バージョンにアップデートすることを強く推奨します。

- ・ 作品の撮影中に新しい SUP をインストールすることは推奨しません。とはいえ、“SUP 6.1.1 の新機能と変更点”に記された項目により、撮影の進行に支障が出るエラーが解消される場合は、インストールを推奨します。
- ・ AMIRA SUP 6.1.1 はすべての AMIRA カメラにインストールできます。
- ・ アップデート中にビューファインダーがオフになり、進行状況が見えなくなる場合がありますが、アップデート中は電源の供給が途切れないようにしてください。アップデート方法の詳細は、“アップデート手順”項をご覧ください。

ダウングレードに関する注意点

AMIRA カメラを以前のバージョンにダウングレードすることは可能ですが、推奨しません。

以前の SUP バージョンにダウングレードするには、任意のライセンスファイル (amira_fw_update_aes_x.x.x.lic)を USB メモリースティック内のディレクトリ/ARRI/AMIRA/LICENSES/に保存してください。

互換性のあるソフトウェア

ARRIRAW Converter (ARC)をバージョン 4.1.1.0 以降に、ARRI Meta Extract (AME)をバージョン 4.1.0.0 以降に更新してください。

MXF/Apple ProRes 映像を Apple QuickTime Player で再生するには、macOS X バージョン 10.15 に Apple MXF プラグイン (“Pro Video Formats 2.1”に同梱)をインストールする必要があります。

オンラインレジストレーション

オンラインカスタマーレジストレーションをまだ行っていない場合、下記の URL からお持ちのカメラをご登録してください。今後、ソフトウェアアップデートなどの最新情報を速やかにお送りいたします。また、カメラをご購入後 1 ヶ月以内にご登録いただければ、6 ヶ月間の延長保証が無料で受けられます。

<https://alshop.arri.de/register>

B. 法令

使用対象者と使用目的

本製品は、商業利用を目的とした顧客のみが唯一かつ排他的に使用可能であり、熟練者のみが使用するものとします。すべての使用者は、ARRI のガイドラインに従ってトレーニングを行う必要があります。本書に記載されている目的にのみ使用してください。関係するすべての機器について、有効な指示要項とシステム要件に従ってください。

重要な注意事項

高電圧による感電および火災の危険があります！

ショートによる致命的な損傷の恐れがあります！

使用前に有効な指示要項を読み、それに従ってください。

指示要項に記載されている通りに使用してください。

システムの解体や、異物の挿入は行わないでください。

運用においては、必ず指示要項に記載されている電源を使用してください。

電源ケーブルを抜く際は、ケーブルでなくプラグを保持して抜くようにしてください。

システムのいかなる部分もユーザが修理しないでください。修理は ARRI サービスセンターにおいてのみ行われます。

保安パーツ (警告ステッカーや、ペイントで印が付いたネジ)は取り除いたり無効化させないでください。

常に湿気、低温、高温、汚れ、振動、衝撃、危険物質から保護してください。

ファンの開口部を覆わないでください。

重量による怪我や損傷の危険があります！

不安定な面に置くと、カメラが落下して重大な損傷を引き起こす可能性があります！

カメラは常に適切なサポートデバイスに設置してください。指示要項に従い、安全に取り付けてください。

重要な安全情報の詳細については、ユーザマニュアルを参照してください。

C. SUP 6.1.1 の新機能

ノイズリダクションのアルゴリズム向上

ノイズリダクション機能 (MENU>SYSTEM>SENSOR)の動作検出アルゴリズムが強化され、ノイズ除去性能が向上しました。

HD 解像度でもノイズリダクションをサポート

60fps までの HD および 2K モードでノイズリダクションが使用可能になりました。アルゴリズムやパラメータは UHD モードと同様です。

イメージシャープネス範囲拡張

イメージシャープネス (MENU>SYSTEM>SENSOR)の範囲が拡張され、さらにシャープネスを強調できるようになりました。

ディフェクトピクセルの静的補正

ディフェクトピクセルの補正能力が向上しました。

SDI 出力がプロジェクトフレームレートに追従

プロジェクトフレームレートを変更すると、センサーフレームレートと同様に、SDI 出力が同じフレームレートに変更されます。

フレームラインのシェーディング

フレームライン外部のエリアに、一定の不透明度でシェーディングをかけることができます。

(MENU>MONITORING>EVF MONITOR>EVF OVERLAYS>FRAME LINES SHADING)

(MENU>MONITORING>SDI>SDI PROCESSING>SDI OVERLAYS>FRAME LINES SHADING)

起動時間の短縮

カメラの起動が高速化され、SUP 5.4 に比べ約 4 秒早くなりました。

ビューファインダーにグリーンタリーを表示

ビューファインダーや Video Monitor Multicam VMM-1 の映像にグリーンタリーを表示し、構成にかかわらず、カメラマンがタリーに気付ける用になりました。

インターコムでのトークバック

DTS ファイバーシステム使用時に、ENG レンズの VTR ボタンまたはカメラのユーザボタンでインターコムのトークバックができるようになりました (MENU/USER BUTTONS)。カメラを肩に担いているときでも簡単にトークバックができます。DTS システムの最新のファームウェアが必要です。

DTS FCA 搭載カメラの自動起動

DTS ファイバーケーブルアダプターを搭載したカメラは、システム側から電源が供給された際に自動的に起動します。リモートカメラやクレーンカメラを含めたシステムにおいて、セットアップやメンテナンスの運用性が向上します。

Video Monitor Multicam VMM-1 のサポート

ビューファインダーインタフェースに接続する場合、SUP 6.1 が必要です。

Log C ベースのカラーペインティング

特定の HDR ワークフローにおいて、一部の Log C ベースのルックを用いたカラーペインティングが可能です。

cforce RF モータを用いた RCP からのアイリス操作

AMIRA PL マウントの Hirose コネクタに cforce RF モータを接続することで、RCP でシネスタイルレンズのアイリスをリモート操作することができます。モータとマウントを接続するには、K2.0015759 Cable CAM (7p) - ENG (12p) (0.3m/1ft)が必要です。broadcast camin 等のインタフェースボックスは不要になります。

CAP 機能向上

RCP アイリス操作、ビデオパラメータ、オーディオ、カメラセットアップ、フレームラインやその他のリモート操作における CAP (Camera Access Protocol)機能が向上されました。

ECS 機能向上

WCU-4 で OCU-1 の Override 機能を即時キャンセルできるようになりました。

全体的な機能向上とバグフィックス

- いくつかのバグフィックスが行われました。
- トラブルシューティングを簡易化するために、ログ・HW info・セットアップのファイルが圧縮された zip ファイルをエクスポートできるようになりました。
- カメラのシステム時計用の内部バッテリーの残容量が低下した際に、警告メッセージが表示されるようになりました。
- ファクトリーデフォルトセッティングにおいて、WiFi が“On”になりました。他の設定に変化はありません。
- フォルスカラーをアクティブにしている際に、フォルスカラーモードを変更できるようになりました。

D. 既知の問題

SUP 6.1.1 における新しい挙動

- システムクロック用内蔵バッテリーの残量が少ない時に警告が表示される

“The battery for the internal clock is too low, please contact ARRI service”

収録クリップやログファイルの時間を管理するシステムクロックは、内蔵バッテリーにより給電されています。正しい時間とデータを得るために、このメッセージが表示されたらなるべく速やかに ARRI サービスセンターにご連絡ください。

- 非常にまれに、SUP 6.1 アップデートによりエラーメッセージが表示される

“Severe system failure occurred. Please reboot camera.”

SUP 5.4 を再度インストールし、ARRI サービスセンターにご連絡ください。

SUP 6.1.1 において解決された既知の問題

SUP 6.1.1 では、以下の問題が解決されています。

- 出力プロセスが“ALEXA Classic 709”に設定されている場合、波形表示は自動的にオフになる

HDR 撮影中に出力プロセスを“ALEXA Classic 709”に設定すると、波形露光ツールは自動的にオフになり、ユーザボタンと MVF-1 の EXP ボタンは無効化されます。

- 再生モードからの収録

再生モードから直接収録を開始できないことがあります。この場合、再度 REC ボタンを押してください。

- インターバル収録中の残り時間誤表示

大容量の CFast 2.0 カードを使用した場合、インターバル収録時に収録可能時間が誤って表示されることがあります。

- Time zone/daylight saving time が自動で設定されない

ソフトウェアアップグレードの後には Time zone/daylight saving time を手動で設定してください。

SUP 6.1.1 における既知の問題

ここでは SUP 6.1.1 における既知の問題を列挙しています。

アクセサリ

- キヤノン B4 レンズ HJ18 のスタート/ストップ

ARRI B4 マウント使用時にキヤノン HJ18 のケーブルが接続された状態でスタート/ストップ機能が動作しなかった場合、レンズの“Reset all”を実行してください。

- 再起動後の Bluetooth デバイス再接続

一部のオーディオモニタリング用 Bluetooth デバイスは、カメラを再起動した際に再接続されない場合があります。再

起動時には Bluetooth デバイスを手動で再接続してください。

オーディオ

- **AES3 ソースが接続された状態でのバッテリー交換**

サウンドミキサー等の AES3 ソースが接続されている時にバッテリーを交換すると、オーディオ機能が正常に初期化されず、"Switch in undefined position"等のエラーが表示される事があります。この場合、カメラを再起動してください。カメラバッテリーを交換する前にサウンドミキサーの電源を落とすことで、この症状を防ぐことができます。オーディオアッテネータを接続している場合も同様の問題が発生する恐れがあります。詳しくは ARRI サービスセンターまでご連絡ください。

- **カメラ電源をオフにする際のオーディオグリッチ**

カメラの電源をオフにする時に大きなオーディオグリッチが発生する場合があるため、ヘッドフォン着用時は注意してください。

- **オーディオミキサーに接続されたヘッドフォン出力**

初期型の IAOU-1 オーディオボードを搭載したカメラで、オーディオ収録をモニタリングするためにミキサーをヘッドフォン出力に接続すると、オーディオボードを損傷する恐れがあります。これはヘッドフォン出力にのみ影響するため、ヘッドフォン出力の最大ボリューム低下を感じた場合、この問題が原因である可能性があります。詳しくは ARRI サービスセンターまでご連絡ください。この症状は新型オーディオボード(IOAU2)では発生しません。

フレームGrab

- **インタレースの S16 および HD クリップをポーズしている間はフレームGrab不可**

フレームGrabを行う場合、再生中に行ってください。

- **WiFi 接続時の CAP 経由でのフレームGrab**

WiFi 接続時の CAP 経由でのフレームGrabは、失敗することがあります。イーサネット接続時の CAP 経由でのフレームGrabは問題ありません。

- **ARRIRAW 再生時のフレームGrab**

ARRIRAW 再生中にフレームGrabを行った場合、フレームのエッジ部分でピクセルの輝度が異なって表示されることがあります。

入力/出力

- **最初のリターン入力でノイズ**

カメラの起動またはセットアップ後、最初にリターン入力映像に切り替えた際に、SDI 出力に歪んだ映像が表示されることがあります。2 回目以降は問題なく表示されます。

- **SDI 2 での誤ったフォルスカラー**

SDI 1 の出力を"Clean"、SDI 2 の出力を"Processed"に設定しているとき、フォルスカラーモードが"Log C-Based"に設定されていても、SDI 出力は"Monitor Based "モードで表示されます。SDI 1 が"Processed"、SDI 2 が"Clean"の場合、問題は発生しません。

- **V/H flip 使用時のインタレースフィールドオーダ**

V flip や V/H flip 機能を使用すると、SDI 出力のインタレースフィールドオーダが逆転します。

- **SDI 出力と収録フレームレートの違いによるノイズ**

SDI 出力フレームレートが 59.94 や 60fps であり、収録フレームレートが 50fps 以下の場合、SDI 映像に線上のアーティファクトが発生することがあります。

- **再生モード切り替え時の信号ロス**

インタレース収録時や、収録フレームレートがプロジェクトフレームレートの 2 倍に設定されている場合、再生モードを切り替えた時に、SDI 出力に一瞬の信号ロスが発生します。

- **SDI ステータスオーバーレイのアイコン誤表示**

プロセッシングモードが A709 に設定されている場合でも、特定の SDI 出力において Log C のアイコンが表示されることがあります。

- **EVF ズーム時では 1.3x アナモフィック・デスクウィーズ使用不可**

1.3x アナモフィック・デスクウィーズは EVF ズーム時の映像に反映されません。

- **UHD SDI 出力では 1.3x アナモフィック・デスクウィーズ使用不可**

1.3x アナモフィック・デスクウィーズは 422 6G/DL 422 6G/422 3G DL の UHD SDI 出力映像に反映されません。

- **SDI 出力がクローンモードである場合のリターン表示**

SDI 出力がクローンモードである場合、リターンイン映像への切り替え時に一瞬信号が失われることがあります。

- **3.2K 収録モードでの 1.3x アナモフィック・デスクウィーズモニタリング**

3.2K 収録モードでアナモフィック・デスクウィーズを使用した場合、EVF/SDI 出力にスケーリングアーティファクトが表示されることがあります。これはモニタリング映像にのみ発生し、クリップ自体に問題はありません。

- **DL 6G HD-SDI 出力**

DL 422 6G SDI 出力で最大のパフォーマンスを得るためには、SDI ボードを最新の IOAX Rev.H にアップグレードしていただくことを推奨します。アップグレードの詳細に関しては株式会社 ナックイメージテクノロジーまでお問い合わせください。

- **MPEG-2 モードでは psf またはインタレースのリターンが使用できない**

カメラが MPEG-2 モードに設定されている場合、psf またはインタレースのリターン信号は使用できません。

- **同期ソース接続時に SDI 出力が一瞬失われる**

Genlock やタイムコードソースに接続する際に、SDI 出力には再同期がかかるため、一瞬出力が失われることがあります。

- **6G に設定する際に SDI 出力が一瞬失われる**

SDI 出力を 6G に、または 6G から別のフォーマットに変更する際に、両方の SDI 出力が一瞬失われることがあります。

- **タイムコード同期を使った際の SDI 出力**

同期ソースとしてタイムコードを使用した場合、SDI 出力がソースに完全に同期しないことがあります。この場合、3 値同期の Genlock 信号を使用してください。

- **SDI/EVF にオーバーレイがある場合のリターン表示**

SDI/EVF にオーバーレイ表示が行われている場合、リターンイン映像への切り替えがすぐに行われなかったりすることがあります。

メディア

- **CFast 2.0 カードのクロスプラットフォームフォーマット問題への対策**

他社製のカメラで CFast 2.0 カードをフォーマットした際に、スキームの違いにより問題が発生することへの対策として、収録に使用できる CFast 2.0 カードは、SUP 4.0 以降の ALEXA Mini または AMIRA で ERASE を行ったものに限定されます。

再生

- **再生モードが"play next clip"の際に 50i/59.94i のクリップがスキップされる**

再生モードが"play next clip"の際に、プロジェクトレートが 50i/59.94i である複数のクリップを再生した場合、連続で再生されずクリップがスキップされることがあります。

- **再生モードを起動してもピーキングは解除されない**

再生中にピーキングを表示したくない場合は、手動でピーキングを解除してください。

- **ポーズ時に、インタレースのクリップは縦の解像度が半分しか表示されない**

これは SDI 再生映像にのみ発生し、クリップ自体に問題はありません。

- **SDI 出力がインタレースに設定されていない場合、インタレース映像に縦方向のジッターが発生する**

これは SDI 再生映像にのみ発生し、クリップ自体に問題はありません。60i のクリップを再生するときは SDI 出力を 60i にするなど、SDI 設定をプロジェクト設定と一致させてください。

- **HDR Look が焼きこまれたクリップは MVF/EVF で正しく表示されない**

HDR Look が焼きこまれたクリップを再生した場合でも、HDR に対応しておらず、トーンマッピングが行われていない MVF および EVF では正しく表示されません。これはモニタリング映像にのみ発生し、クリップ自体に問題はありません。いずれにせよ、HDR 撮影の際に Look を焼き込むことは一般的に推奨しておりません。

収録

- **CFast 2.0 カードへ書き込み中の電力喪失**

カメラが CFast 2.0 カードへ書き込んでいる際にカードを取り出すかカメラの電力が喪失した場合、カードを再度フォーマットしてください。カード自身やその後の収録に悪影響を及ぼさないよう、カメラに表示されるエラーと警告メッセージに従ってください。詳しい情報や他の問題が発生した場合は ARRI サービスセンターまでご連絡ください。

- **MPEG 2 収録モードでの残り時間表示**

MPEG 2 収録モードでは、カメラ上の収録可能時間が実際の収録時間よりも短く表示されることがあります。

- **SanDisk CFast 2.0 カード 120GB/60GB での収録エラー**

非常に稀に、SanDisk CFast 2.0 カード 120GB/60GB を使用している際に“Write failure on recording card (Slot A)”と表示され収録が失敗することがあります。

- **映像の垂直ミラーリングをメタデータに保存**

ミラーリング情報は Quicktime ファイルのメタデータに保存されます。MPEG-2 HD MXF ファイルのメタデータにはミラーリング情報は保存されないため、カメラ外部で再生される際には収録した通りに表示されます。

- **最大クリップサイズに対するエラーメッセージ**

非常に稀に、カメラが収録を停止して“Recording stopped - maximum clip size reached”というメッセージが表示されることがあります。これは ProRes LT などのデータレートの低いコーデックでディテールが非常に少ない映像を収録した場合に発生します。

- **CFast 2.0 カードのリール数制限**

1 枚の CFast 2.0 カードに収録できる最大リール数は、ProRes/ARRIRAW MXF の場合 15 リール、MPEG-2HD 422 の場合 2 リールです。リール数が最大に達した場合、リールの追加はできませんが映像の収録は可能です。

- **MPEG または ARRIRAW 再生モードからの収録**

MPEG または ARRIRAW 再生モードから直接収録を開始しようとすると、“Recording stopped due to FPGA failure. Please reboot camera.”というエラーメッセージが表示されることがあります。収録前には必ず再生モードから戻ってください。

- **Noise Reduction の“Strong”設定**

S16HD/3.2K 4:3/2.8K/4K UHD モードで Noise Reduction を“Strong”に設定した場合、素早く移動する被写体にアーティファクトが発生する恐れがあります。事前にテストすることを推奨します。

- **HD-SDI 出力が 2K に設定された場合のダウンスケール収録**

2K 解像度を HD にダウンスケールした収録では、収録された映像の画質はモニタリングには最適ですが、マスターレコードとしては不十分である場合があります。HD-SDI 収録をマスターレコードにする場合、収録フォーマットを HD に設定してください。

- **高温環境におけるスロット B の SanDisk CFast カード 120GB/128GB への高データレート収録**

40℃(104°F)を超える高温環境において、カメラのカードスロット B に挿入した SanDisk CFast カード 120GB/128GB に ProRes 4444 で 200 fps 等の高フレームレートで収録した場合、収録の最大時間が制限される場合があります。この条件下で長時間収録する場合は、カードスロット A をご利用ください。

- **収録中の感度・ホワイトバランスの変更**

収録中に感度 (Exposure Index)やホワイトバランス (White Balance)を変更した場合、1つのフレームの中で2種類の映像が競合する場合があります。

- **ARRI_UDF システムではない CFast カードでもフォーマットを促されない**

MVF ディスプレイがライブビューになっている場合、カメラは CFast カードをフォーマットするように要求しません。カードのファイルシステムが ARRI_UDF でなく、FAT32 や ExFAT 等の場合でも同様です。

タイムコード

- **センサーの LTC タイムコード同期に必要なタイムコードジェネレータ**

LTC タイムコード信号でカメラを Genlock するには、精度が高くジッターが少ないジェネレータが必要です。通常の LTC タイムコードソースとしては問題がないデバイスでも、LTC Genlock ソースとしては不十分な場合があります。

- **タイムコードを使用して複数のカメラを同期する**

Timecode Sync と Timecode Mode Regen を使って複数のカメラを同期した場合、プロジェクトレートが 30fps 以上に設定されているとタイムコードが 1 フレームオフセットして表示されることがあります。

アップデート

- **AMIRA 経由では LBUS デバイスはアップデートできない**

LBUS デバイス (Master Grip、cforce モータ、LCUBE)は、EXT-LBUS ケーブルを併用しても AMIRA 経由でアップデートすることはできません。ALEXA Mini/UMC-4/LCS-LBUS ケーブルを併用した WCU-4 を使用するか、ARRI サービスセンターまでご連絡ください。

ユーザビリティ

- **ファクトリーリセットとセットアップ読み込み時のレンズマウント設定**

ファクトリーリセットやセットアップファイルの読み込みを行っても、レンズマウントの設定は変更されません。必ず MENU/SYSTEM/LENS MOUNT SETTINGS/ENABLE LDS MOUNT から設定を確認してください。

- **SUP アップデート後に Web リモート機能が動作しない**

カメラをアップデートした後、Web ブラウザのキャッシュをクリアしていないと、Web リモート機能が正常に動作しないことがあります。

- **SDI 出力設定により QR コードスキャンが失敗する**

SDI 出力のフレームラインやピーキングを有効にしていると、WiFi 設定時の QR コードスキャンに失敗することがあります。QR コードをスキャンするときは、前述の設定を一時的に解除してください。

- **MVF-1 と CCP-1 併用時のモード切り替え**

MVF-1 と CCP-1 をデジイチチェーン接続し、MVF-1 がアクティブモードになっている状態で、ProRes と ARRIRAW のモードを切り替えると、フェードアウトする黒いバーが表示されます。モード切り替え自体は正常に実行されます。

- **収録解像度を変更しても波形モニターは更新されない**

ビューファインダーに波形モニターを表示している場合、収録解像度を変更しても波形モニターは更新されません。波形

モニターのオンオフを切り替えて、更新してください。

- **フレームラインのファイル名は 32 文字まで**

ファイル名が 32 文字以上であるフレームラインはサポートされていません。

- **ゼブラ機能は 99%まで**

ゼブラ機能の設定は最高で 99%までです。

- **CAP 経由でのフレームグラブ**

再生中のカメラに対して CAP サーバ経由でフレームグラブを行った場合、再生中の映像ではなく、センサーのライブイメージが収録されます。

- **Starlite HD5-ARRI のディスプレイに UI が表示されていない場合**

Starlite HD5-ARRI が CLEAN 表示の SDI 出力に接続されていた場合、タッチインタフェースが有効化いても画面に何も表示されないため、スクリーンの対応した部位に触れると設定を気づかれぬまま変更されることがあります。タッチインタフェースが表示されるよう、PROCESSED 表示の SDI 出力に接続してください。

- **カメラでの MPEG-2 再生**

非常に稀に、MPEG-2 クリップの再生が中断されることがあります。速度を変えて早送り再生することでカメラ内部での映像の確認が可能です。データが心配な場合、クリップをコンピュータで再生してください。

- **最新バージョンの EF マウントは SUP 4 で使用できない**

カメラのファームウェアを SUP 4 にしても EF マウントはダウングレードされません。この場合、SUP 5.x にアップグレードされた EF マウントは使用できません。

- **以前のバージョンでのユーザセットアップは SUP 6.1 以降のカメラと互換性がない**

SUP 5 以前で作成したユーザセットアップは、SUP 6.1 以降のカメラではロードできません。

- **フレームグラブにミラーイメージのパーティカルフリップは適用されない**

ミラーイメージ使用時でも、フレームグラブには水平フリップしか適用されません。

- **タイムコードモードの Jam Sync と Genlock Sync は併用不可**

タイムコードモードの Jam Sync または Genlock Sync を使用する場合、カメラの内部オシレータはソースクリックに準拠します。そのため、Jam Sync と Genlock Sync を併用することはできません。

- **ERASE 中は別のカードには収録不可**

カードの ERASE を行っている間は、別のカードへの収録はできません。同様に、カメラの設定は一切変更できません。

ビューファインダー

- **超低フレームレートでの ZOOM またはサラウンドビュー**

約 5 fps 未満の超低フレームレート撮影時に ZOOM やサラウンドビューの ON/OFFLINE を切り替えると、EVF/モニタ

一の映像が一時的に薄くなることがあります。

- **シリアルナンバー 2150 以前またはアップグレードしていないアイピースの近接センサー**

正しくない角度でビューファインダーに接近した場合、近接センサーが反応せず OLED ディスプレイが表示されない場合があります。

- **新型 MVF-1 を初めて接続した際のキャリブレーション**

新型 OLED ビューファインダーパネルを搭載した MVF-1 を初めて接続した場合、キャリブレーションが開始されるまで約 10 秒かかります。

マルチカム

- **マルチカムモードでのみ使用できる CAP 制御**

マスターブラックペダスタルやその他のビデオパラメータに関する CAP コマンドは、カメラがマルチカムモードになっている場合のみ実行できます。

- **IAOX-M を搭載した AMIRA で、Genlock Sync ref in/analog の項目が表示されない**

AMIRA CL 等、改造型 SDI ボードである IAOX-M を搭載したカメラに SUP 6.1 をインストールすると、最初に起動した際に Genlock Sync メニューに ref in/analog の項目が表示されません。2 回目以降は問題なく表示されます。

- **CAP を使用した RCP アイリス操作**

CAP プロトコルでレンズのアイリスを操作するには、カメラをマルチカムモードにするか、HOME/EXPOSURE-INDEX/IRIS/OPTIONS で Lens switch Triggers auto iris をオフにしておく必要があります。

- **安定した Genlock 同期に必要なリターン入力信号**

Genlock 同期を安定して継続するには、ディストーションのないクリーンな信号をリターン入力してください。

- **不均一な RCP 値**

RCP のパラメータは、-87/+89 など、正負の範囲で均一ではありません。

E. アップデート手順

ソフトウェア・アップデート・パッケージ (SUP)のダウンロード方法

ソフトウェア・アップデート・パッケージのダウンロードセクション (以下の URL)から SUP ファイルをダウンロードすることができます。USB スティックを用いて、下記の方法で SUP をカメラにインストールしてください。

<https://www.arri.com/en/technical-service/firmware/software-and-firmware-updates-for-cameras/amira-sup-overview>

カメラのアップデート方法

AMIRA のソフトウェア・バージョンアップは USB スティックを使って行います。SUP はカメラ本体と、カメラに接続されているビューファインダー (MVF-1)、CCP-1、レンズマウントをアップデートします。

- ・ ダウンロードしたファイル (*.zip)を解凍し、2 種類のアップデートファイル (*.SUP と*.lic)および SUP リリースノートを展開してください。
- ・ USB スティックを AMIRA に接続して MENU > Media > Prepare USB medium を選択し、CONFIRM を押すことで、USB スティック内に必要なフォルダー構造が生成されます。
- ・ コンピュータに USB スティックを接続し、ARRI/AMIRA/SUP のフォルダーに*.SUP ファイルを配置します。同様に、ARRI/AMIRA/LICENSES フォルダーに*.lic ファイルを配置します。
- ・ SUP にはカメラボディ以外のアップデートファイルも含まれているため、アップデートを行うときは、MVF-1、CCP-1、レンズマウントをカメラに装着してください。
- ・ アップデート中に電源が切れないよう、カメラを可能なら安定電源、またはフル充電されたバッテリーに接続してください。
- ・ Menu > Setup > Factory Reset...からファクトリーリセットを行います。
- ・ カメラから収録メディアを取り出します。
- ・ USB スティックをカメラに接続し、MENU > System > Update Camera...を選択します。
- ・ リストから適切な SUP ファイルを選択し、ジョグホイールを押します。
- ・ メッセージが表示されたら INSTALL を押し、インストールを開始します。
- ・ アップデート状況を示すスクリーンがカメラに表示されます。カメラが再起動するまでオフにしたり電源を取り外さないでください。
- ・ アップデート終了後、成功のメッセージが表示されます。
- ・ System Time 設定から正しいタイムゾーンを選択してください。
- ・ アップデート時にカメラに MVF-1、CCP-1、レンズマウントが接続されていなかった場合、それらのデバイス用のソフトウェアがカメラに保存されます。これらのデバイスが次にカメラに接続されたときにソフトウェアが古ければ、カメラがアップデートを推奨します。

本件に関するお問い合わせ：

※ 製品の仕様、外観は予告なしに変更することがあります



株式会社 **ナックイメージテクノロジー**
映像制作営業 ダイヤルイン：03-3796-7901
<https://www.nacinc.jp>

ISO 9001 認証取得

本 社 〒107-0061 東京都港区北青山 2-11-3 : 03-3796-7900
大 阪 〒531-0072 大阪市北区豊崎 3-2-1 : 06-6359-8110
名古屋 〒464-0075 名古屋市千種区内山 3-8-10 : 052-733-7955
九 州 〒812-0011 福岡市博多区博多駅前 3-6-12 : 092-477-3402